

組織力強化セミナー『信長の血涙』

リーダーの決断 戦国武将の経営戦略

2023年のNHK大河ドラマ『どうする家康』では、徳川家康、織田信長、明智光秀など、たくさんの方の歴史に名を残した戦国武将たちが登場することが予想されます。戦国武将たちの“どうする”（人生の岐路に立つ決断）について、リコージャパン株式会社において元 販売力強化センター長として組織力強化の責任者を務め、現在は作家として歴史小説や時代小説を執筆している杉山大二郎が、企業経営や組織づくりのヒントになるように、わかりやすく解説いたします。

歴史の転換となった桶狭間の戦いにおける徳川家康の選択とは？ 「将が立つべきは人の上に非ず。人の前なり」、第六天魔王とまで言われて恐れられた織田信長が流した涙の訳は？ 偉大な父である今川義元の急逝の後に家督を継いだ若きリーダー今川氏真の組織経営とは？

歴史に興味関心が高い組織リーダーの方や組織力強化のために覚悟をもって改革を行っている経営者の方に、ぜひとも聴いていただきたいセミナーとなっています。



講師プロフィール：杉山 大二郎（作家／経営コンサルタント）

一般社団法人日本推理作家協会 会員

歴史小説イノベーション操觚の会 事務局長

『嵐を呼ぶ男！』（徳間書店）が、第9回日本歴史時代作家協会賞新人賞候補となる。著書は、『信長の血涙』（幻冬舎）、『さんばん侍 利と仁』（小学館）、『至高の営業』（幻冬舎）ほか多数。

元リコージャパン株式会社 販売力強化センター長（2013年退社）。

在職中は営業マン、営業マネジャーを経て、営業革新（SFAの企画・推進）、市場戦略、評価・報奨制度、セールス・プロモーション、人材開発部門の統括責任者を務める。

同社における、6000台のiPad導入プロジェクトや全国主要7大都市で2万人を集客した Value Presentation フェア、リコーマスターズ、リコーマネジャーサミット、ライブオフィス ViCreA など、全社的プロジェクトの責任者を歴任した。